

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 日東工器株式会社

コード番号 6151 URL <http://www.nitto-kohki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小武 尚之

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 本田 毅

TEL 03-3755-1111

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

平成21年12月7日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	9,511	△37.5	317	△87.0	409	△83.6	210	△86.0
21年3月期第2四半期	15,216	—	2,440	—	2,503	—	1,497	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年3月期第2四半期	9.89	—	—	—
21年3月期第2四半期	68.68	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円	銭	円	銭
22年3月期第2四半期	41,172	—	36,519	88.3	—	—	1,710.88	—
21年3月期	41,047	—	36,187	87.8	—	—	1,695.64	—

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 36,354百万円 21年3月期 36,030百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
21年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
22年3月期	—	20.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	10.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

期末の1株当たり配当予想について10円とさせていただきます。詳細は、2ページ【※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項】をご覧ください。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	18,370	△24.2	490	△83.7	560	△82.0	230	△86.6	—	10.82

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は4ページ【定性的・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	21,803,295株	21年3月期	21,803,295株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	554,314株	21年3月期	554,218株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	21,249,051株	21年3月期第2四半期	21,801,700株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・配当予想修正の理由

当社は、株主の皆様へ1株当たり年間40円以上の安定的な利益還元を継続することを配当政策の基本方針としております。内部留保資金については、将来の事業展開に必要な技術研究や設備など、技術的な成長を可能とするための資金として活用してまいります。この基本方針に基づき、第2四半期末の配当につきましては、厳しい経営環境ではありますが、予定通り1株当たり20円をお支払いさせていただくことを本日開催(平成21年11月12日)の取締役会で決議いたしました。

この厳しい経営環境の中で当社は、昨年来の世界的な金融危機以降、人件費(給与カット)やその他の経費につきましても削減し、コストダウンならびに利益確保に取り組んでまいりました。しかしながら、依然として経営環境に不安定な要素が少なくなく、引き続き厳しい状況が予想されることから、期末配当予想につきましては、1株当たり10円とさせていただきます。

・上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、昨年後半からの世界的な景気後退が底打ちし、一部業界では最悪期から脱出し工場稼働率に回復の兆しがあるものの、産業界全体では依然として設備投資需要の低迷が続いています。また世界経済は、アジア地域では景気回復の兆しが出始めている国があるものの、欧米先進国では設備投資需要の低迷が続いており先行き不透明な状況です。

このような世界規模での需要縮小という経営環境により、当社グループの売上げは前年同期比30%以上のマイナスを余儀なくされました。売上げが増えない状況であるため、利益確保のため全社的な経費削減策を講じましたが、売上高の大幅な減収を補うには遠く及ばず、同80%を超える減益となりました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は95億11百万円となり、前第2四半期連結累計期間152億16百万円と比較すると37.5%の減収となりました。営業利益は3億17百万円となり、同24億40百万円と比較すると87.0%の減益、経常利益は4億9百万円となり、同25億3百万円と比較すると83.6%の減益、四半期純利益は2億10百万円となり、同14億97百万円と比較すると86.0%の減益となりました。

事業のセグメント別の業績は、次のとおりです。

迅速流体継手事業は、国内は自動車業界、半導体業界向けを中心に設備投資需要が激減、海外市場においても景気後退の影響により、売上高は31億92百万円（前第2四半期連結累計期間比42.4%の減収）となりました。利益面では、売上げの大幅な減少によって、営業利益は1億11百万円（同88.2%の減益）となりました。

機械工具事業は、国内景気の急速な冷え込みによって機械業界向け売上げが大幅に減少、海外では米国市場の需要不振と円高が響いて、売上高は38億16百万円（同41.1%の減収）となりました。利益面では、売上げの大幅な減少と円高の影響で、営業利益は2億10百万円（同81.9%の減益）となりました。

リニア駆動ポンプ事業は、国内外市場における消費不振と設備投資抑制により浄化槽ブロウと装置組み込み用のコンプレッサに対する需要が低迷し、売上高は15億78百万円（同25.3%の減収）となりました。利益面では、売上げの大幅な減少によって、営業損失34百万円（前年同期は2億69百万円の利益）となりました。

建築機器その他事業は、金融危機が世界の不動産・建設投資に連鎖して市場が大幅に縮小したものの、主力の中心吊オートヒンジが健闘し、売上高は9億23百万円（同14.5%の減収）と減収幅を抑えることができました。しかし利益面では価格競争が厳しく、営業利益29百万円（同52.6%の減益）となりました。

所在地別セグメントの業績は、次のとおりです。なお各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高、または振替高を含んで記載しております。

日本国内は、売上高82億64百万円（前第2四半期連結累計期間比37.0%の減収）、営業利益1億72百万円（同91.2%の減益）となりました。

海外は、売上高25億88百万円（同41.3%の減収）、営業利益1億21百万円（同76.4%の減益）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は411億72百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億25百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は283億72百万円となり前連結会計年度末と比較して1億86百万円の減少となりました。これは主に現金及び預金の増加18億64百万円、有価証券の減少11億99百万円、原材料及び貯蔵品の減少2億15百万円、商品及び製品の減少2億3百万円、その他の流動資産の減少2億66百万円、受取手形及び売掛金の減少1億79百万円によるものです。

固定資産は128億円となり、前連結会計年度末と比較して3億11百万円の増加となりました。これは主に、日東工器本社第2期工事等による建設仮勘定5億28百万円の増加、工具器具備品の取得による1億8百万円の増加、繰延税金資産33百万円の増加、有形固定資産の減価償却費4億14百万円の計上に伴う減少によるものです。

負債の部では、流動負債は30億84百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億86百万円の減少となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少3億24百万円、未払法人税等の増加1億32百万円によるものです。

固定負債は、15億68百万円となり、前連結会計年度末と比較して19百万円の減少となりました。これは主に退職給付引当金の減少18百万円によるものです。

純資産の部では、四半期純利益は2億10百万円でしたが、配当金の支払い4億24百万円があったため、利益剰余金は2億14百万円減少し341億79百万円となりました。また為替換算調整勘定が5億29百万円増加したため純資産の部では365億19百万円となり、前連結会計年度末と比較して3億31百万円の増加となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は99億17百万円となり、前連結会計年度末と比較して31億18百万円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、14億39百万円の収入（前第2四半期連結累計期間比31.4%減）となりました。主なプラス要因は、たな卸資産の減少6億25百万円、減価償却費4億31百万円、税金等調整前四半期純利益3億93百万円、売上債権の減少2億96百万円等であります。主なマイナス要因は、仕入債務の減少4億39百万円であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、44億42百万円の支出（前第2四半期連結累計期間は2億円の収入）となりました。主なプラス要因は、定期預金の払戻による収入52億19百万円等であります。主なマイナス要因は、定期預金の預入による支出90億円、有形固定資産の取得による支出7億3百万円であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、4億34百万円の支出（前第2四半期連結累計期間比34.5%減）となりました。主なマイナス要因は配当金の支払額4億24百万円等であります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年8月6日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当する事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度末に使用した貸倒実績率等を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

②経過勘定項目の算定方法

固定費的な要素が大きく、予算と実績の差異が僅少のものについては、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

③繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予想やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

④税金費用の計算

税金費用については、四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当する事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,767	15,903
受取手形及び売掛金	5,025	5,204
有価証券	—	1,199
商品及び製品	3,013	3,217
仕掛品	323	300
原材料及び貯蔵品	1,342	1,557
繰延税金資産	613	612
その他	308	574
貸倒引当金	△20	△11
流動資産合計	28,372	28,558
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,956	7,906
減価償却累計額	△3,652	△3,482
建物及び構築物（純額）	4,303	4,424
機械装置及び運搬具	2,625	2,551
減価償却累計額	△2,039	△1,955
機械装置及び運搬具（純額）	586	596
工具、器具及び備品	5,208	5,125
減価償却累計額	△4,578	△4,460
工具、器具及び備品（純額）	629	664
土地	4,120	4,104
リース資産	128	122
減価償却累計額	△19	△9
リース資産（純額）	109	112
建設仮勘定	995	467
有形固定資産合計	10,745	10,370
無形固定資産		
その他	117	132
無形固定資産合計	117	132
投資その他の資産		
投資有価証券	909	927
長期貸付金	220	240
繰延税金資産	555	521
その他	267	311
貸倒引当金	△16	△14
投資その他の資産合計	1,937	1,985
固定資産合計	12,800	12,488
資産合計	41,172	41,047

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間末
(平成21年9月30日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成21年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,348	1,673
リース債務	20	19
未払法人税等	132	—
賞与引当金	553	614
役員賞与引当金	—	8
その他	1,029	955
流動負債合計	3,084	3,271
固定負債		
リース債務	88	93
退職給付引当金	1,241	1,260
役員退職慰労引当金	128	126
繰延税金負債	0	0
その他	109	106
固定負債合計	1,568	1,588
負債合計	4,653	4,859
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850	1,850
資本剰余金	1,925	1,925
利益剰余金	34,179	34,393
自己株式	△915	△915
株主資本合計	37,039	37,254
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	112	103
為替換算調整勘定	△797	△1,326
評価・換算差額等合計	△684	△1,223
少数株主持分	164	156
純資産合計	36,519	36,187
負債純資産合計	41,172	41,047

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	15,216	9,511
売上原価	7,992	5,185
売上総利益	7,223	4,326
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	1,275	1,114
賞与引当金繰入額	343	300
退職給付費用	60	88
役員退職慰労引当金繰入額	18	17
販売促進費	422	206
研究開発費	449	435
その他	2,214	1,844
販売費及び一般管理費合計	4,783	4,008
営業利益	2,440	317
営業外収益		
受取利息	100	46
受取配当金	17	15
為替差益	—	3
受取家賃	16	16
その他	34	49
営業外収益合計	169	131
営業外費用		
売上割引	49	31
為替差損	55	—
その他	2	8
営業外費用合計	107	40
経常利益	2,503	409
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	13	13
固定資産売却損	1	0
その他	—	1
特別損失合計	15	15
税金等調整前四半期純利益	2,488	393
法人税等	976	181
少数株主利益	14	2
四半期純利益	1,497	210

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	7,776	4,898
売上原価	4,070	2,738
売上総利益	3,706	2,159
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	658	567
賞与引当金繰入額	170	136
退職給付費用	30	44
役員退職慰労引当金繰入額	9	8
販売促進費	199	27
研究開発費	238	234
その他	1,210	964
販売費及び一般管理費合計	2,517	1,983
営業利益	1,188	175
営業外収益		
受取利息	50	22
受取配当金	1	1
為替差益	—	2
受取家賃	6	8
その他	21	25
営業外収益合計	79	59
営業外費用		
売上割引	24	16
為替差損	12	—
その他	1	6
営業外費用合計	38	22
経常利益	1,229	212
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	13	13
固定資産売却損	0	0
その他	—	1
特別損失合計	14	15
税金等調整前四半期純利益	1,215	197
法人税等	457	86
少数株主利益又は少数株主損失(△)	8	△0
四半期純利益	749	111

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,488	393
減価償却費	543	431
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△117	△19
受取利息及び受取配当金	△117	△61
売上債権の増減額 (△は増加)	△39	296
たな卸資産の増減額 (△は増加)	395	625
仕入債務の増減額 (△は減少)	258	△439
その他	△194	54
小計	3,216	1,281
利息及び配当金の受取額	118	60
利息の支払額	△1	△0
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,236	97
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,098	1,439
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,608	△9,000
定期預金の払戻による収入	3,359	5,219
有形固定資産の取得による支出	△1,480	△703
その他	△71	42
投資活動によるキャッシュ・フロー	200	△4,442
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△654	△424
少数株主への配当金の支払額	△10	—
その他	△0	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△664	△434
現金及び現金同等物に係る換算差額	△297	319
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,337	△3,118
現金及び現金同等物の期首残高	15,275	13,036
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,612	9,917

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	迅速流体 継手 (百万円)	機械工具 (百万円)	リニア駆 動ポンプ (百万円)	建築機器、 他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	5,541	6,480	2,114	1,080	15,216	—	15,216
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	(—)	—
計	5,541	6,480	2,114	1,080	15,216	(—)	15,216
営業利益	944	1,164	269	63	2,440	—	2,440

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	迅速流体 継手 (百万円)	機械工具 (百万円)	リニア駆 動ポンプ (百万円)	建築機器、 他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	3,192	3,816	1,578	923	9,511	—	9,511
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	(—)	—
計	3,192	3,816	1,578	923	9,511	(—)	9,511
営業利益又は営業損失 (△)	111	210	△34	29	317	—	317

(注) 1. 事業区分は、製品の種類・性質、製造方法、販売市場等の類似性を考慮して4つの事業に区分しております。各区分に属する主な製品は次のとおりであります。

- (1) 迅速流体継手 真空用カプラ、空圧用カプラ、油圧用カプラ等
- (2) 機械工具 ジェットタガネ、アトラ、ベルトン、デルボ等
- (3) リニア駆動ポンプ コンプレッサ、ブロワ等
- (4) 建築機器、他 ドアクローザ等

2. 会計処理の方法の変更

前第2四半期連結累計期間

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、営業利益が、迅速流体継手で63百万円、機械工具で55百万円、リニア駆動ポンプで23百万円、建築機器、他で9百万円それぞれ減少しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	11,991	966	1,437	820	15,216	—	15,216
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,130	3	46	1,132	2,313	△2,313	—
計	13,122	970	1,484	1,952	17,530	△2,313	15,216
営業利益	1,955	102	96	314	2,468	△28	2,440

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	ヨーロッパ (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	7,529	637	845	498	9,511	—	9,511
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	735	6	10	589	1,341	△1,341	—
計	8,264	644	855	1,088	10,852	△1,341	9,511
営業利益又は営業損失（△）	172	74	△0	47	293	23	317

(注) 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 本邦以外の区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

北 米……米国、カナダ

ヨーロッパ……英国、ドイツ、フランス他

3. 会計処理の方法の変更

前第2四半期連結累計期間

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、営業利益が、日本で1億51百万円減少しております。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）

	北米	東南アジア	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	1,115	1,696	1,702	835	5,349
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	—	15,216
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	7.3	11.1	11.2	5.5	35.2

当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

	北米	東南アジア	ヨーロッパ	その他の地域	計
I 海外売上高（百万円）	727	1,075	905	489	3,198
II 連結売上高（百万円）	—	—	—	—	9,511
III 海外売上高の連結売上高に占める割合（%）	7.7	11.3	9.5	5.2	33.6

（注） 1. 地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) 北 米…米国、カナダ

(2) 東南アジア…マレーシア、シンガポール、台湾、韓国他

(3) ヨーロッパ…英国、ドイツ、フランス他

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

6. その他の情報

当第2四半期連結会計期間
(自 平成21年7月1日
至 平成21年9月30日)

(希望退職者の募集)

当社は、平成21年11月12日開催の取締役会において、希望退職者の募集を行うことを決議いたしました。

1. 希望退職者募集の理由

当社を取り巻く環境は、昨年来の世界的な金融危機の影響によって、しばらくの間は設備投資需要の低迷が続くものと予想しております。このような経営環境において、経費削減等のコストダウンに取り組んでおりますが、さらに構造改革の一環として人員の適正化を図るため、希望退職者の募集を実施するものであります。

2. 募集の概要

- (1) 募集対象者 満50歳（平成21年12月31日現在）以上の正社員・契約社員・嘱託社員
- (2) 募集人員 上限30名
- (3) 募集期間 平成21年11月13日から平成21年11月30日まで
- (4) 退職日 平成21年12月31日
- (5) 優遇措置 会社都合扱いの退職金に加えて、特別加算金を上乘せ支給する。さらに希望者には再就職支援会社による再就職支援措置を行う。

3. その他のグループ会社の取り組み

当社の100%子会社であります栃木日東工器株式会社においても当社と同様の理由により、退職優遇制度を実施しております。今回、その他のグループ子会社においては、実施いたしません。

- (1) 募集対象者 全社員
- (2) 募集人員 10名前後
- (3) 募集期間 平成21年9月16日から平成21年11月30日まで
- (4) 退職日 平成21年12月31日
- (5) 優遇措置 会社都合扱いの退職金に加えて、特別加算金を上乘せ支給する。さらに希望者には再就職支援会社による再就職支援措置を行う。

4. 損益に与える影響

当連結会計年度において、特別加算金等を特別損失に計上する予定ではありますが、当四半期報告書提出日現在では、募集期間が終了しておらず応募者が未確定であるため、今後の財政状態および経営成績に与える影響は未確定であります。